


(3) 祇園・かも地区

地区の概況と緑の課題

位置図	ア 地区の概況
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中心市街地の北東部に位置し、大部分は昭和 40 年以降に開発された低層住宅団地が形成されています。 ・ 大場川、沢地川、山田川等の河川や、団地周辺の樹林等、多くの自然が残っています。
イ 緑の課題	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 大場川、沢地川などの河川沿いに歩道や公園を整備するなど、市民が水に親しめる空間づくりが求められます。 ・ 山田川については、周囲の里山 の樹林と一帯となった自然環境の保全が求められます。 ・ 地区の南部は公園が不足するため、その整備が求められます。 ・ 川原ヶ谷などの農地は、その保全とともに、防災拠点等としての活用の検討が求められます。 ・ 地区北側の住宅団地内公園については、地区住民の参画による再整備や管理などの検討が求められます。 	

方針

沢地川及び山田川沿いに比較的まとまった農地や緑地が残されており、これらを活かしながら、河川沿いの公園・緑地の整備を進め、親水護岸化・歩道等の整備を検討します。

地区南側にはほとんど公園がなく、中心市街地（旧三島地区）にも接していることから、公園の確保や、防災拠点の形成を促進し、日常的な利用や避難の拠点となる緑づくりを進めます。

ア 地区コンセプト

“ 緑の骨格軸・拠点の形成 ”

イ 実現の方向

緑と水のクラスター 軸の形成（大場川、沢地川、山田川の親水護岸化や歩道整備等）	面整備事業の検討による緑や防災拠点の形成 河川と道路の接点となる場所の魅力化（大場川、主要道路等の交点となる橋詰公園 の整備検討）
緑と道のクラスター軸の形成（旧東海道・(推定)平安鎌倉古道 の活用）	

里山：p.10 参照

クラスター：p.15 参照

(推定)平安鎌倉古道：p.36 参照

橋詰公園：p.22 参照

方針図

